

5月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和6年5月末現在〕

令和6年6月13日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」は悪化したが、「収益状況」は変化がなかった。

業種別でみると、「景況」「売上高」は、製造業では悪化したが、非製造業は変化がなかった。「収益状況」は、製造業では改善したが、非製造業は悪化した。

一部、ゴールデンウィーク期間やイベント開催による客数の増加で売上高が上昇した報告があったが、全体としてはエネルギーや原材料等がさらに高騰している報告が多く見られ、今後の「収益状況」が懸念される。

景況DI

製造業は、前月比8.0ポイント悪化の▲28.0ポイント、非製造業は、前月比増減なしの▲20.0ポイント、全体では、前月比4ポイント悪化の▲24.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比4.0ポイント悪化の▲20.0ポイント、非製造業は、前月比増減なしの20.0ポイント、全体では、前月比2.0ポイント悪化の▲0.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比4.0ポイント改善の▲24.0ポイント、非製造業は、前月比4.0ポイント悪化の▲20.0ポイント、全体では、前月比増減なしの▲22.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	学校給食パン	新年度が始まり1ヶ月が経ったが、パン給食の提供回数が前年度比10%低下している。原因としては各自治体による地場産米の活用が挙げられる。また、原料費の高騰など製造コストの上昇から収益が悪化している。 毎年、基本加工賃は上昇しているが、現状の製造コストには追いついていない。	
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県4月の清酒課税移出数量は、対前年同月比106.3%であった。本格焼酎については、同77.9%であった。清酒は対前年同月比を上回ったが、ゴールデンウィークに向け卸売り小売りととも在庫を増やしたことが要因である。しかし、消費者の実質賃金が上昇しないことから、消費者は嗜好品に対する支出を抑える傾向にあり、酒に関しても影響を受けている。 ○県内当業界について 令和5年度の酒造りは一段落してきた。酷暑により原料米の品質が悪く酒造りも苦労の連続かつ品質面でも杜氏の技術の差が出たシーズンであった。 小規模の酒蔵が多い茨城では6月以降営業に専念できる。組合でも6月1日つくばセンター広場での「大吟醸を楽しむ会」や6月5日茨城大学での大学生向け日本酒の教養講座の実施、6月15日利き酒選手権大会を開催するなどイベントが続いている。 地元での知名度が低い茨城の地酒を広く知ってもらうためにPR発信に努めたい。	
	納豆	包材メーカーから、納豆の容器（パック）値上げの通知が納豆製造会社各社にあり、納豆業界全体での原価の上昇が想定される。各社、価格転嫁できるかが課題。企業によっては大手メーカーの値上げ動向に依存するため、業績が悪化する恐れがある。 人手不足の状況が続いている。	
	菓子	5月24、25、26日の3日間いばらきスイーツフェア2024を県庁で開催した。コロナ禍前より売上も客数も増加し盛況のうちに終了した。 売れ筋はケーキで、県内の有名店スイーツが県庁で買えることが特徴である。好文だんごも良く売れていた。客層は若い家族連れが多かった。 一方で組合員の店舗での販売は低迷している。	
	繊維工業	県北地区外衣シャツ	従業員の確保に苦慮している。 受注量が減少している。
	木材・木材製品	製材	国産材製品は荷動きが悪く、製品価格も弱保合で推移した。 外材も荷動きが悪く、価格は保合で推移した。 原木は荷動きが良く、価格も保合で推移した。
		県北地区プレカット	月間加工坪数は目標の65%。6月の加工予定は初～中旬に集中している。 木材価格は、先月に引き続き横ばいで推移している。
		県央地区プレカット	個人住宅の見積需要はあるが、なかなか加工までには至らない。 保育園やグループホームなどの需要もあるが、大規模な物件ほど打ち合わせ等に時間がかかり、加工に入るまでに時間を要することから、工場生産が前年より大きく落ち込んでいる。
	紙・紙加工品	段ボール	生産量が前年より5%から10%悪化している。 段ボールシートメーカー数社からは値上げの話も出てきており、更なる収益の悪化を招く可能性がある。 それに伴い段ボール箱の値上げを行わないといけない可能性が出てきている。 物価高騰も続いているため収益を伸ばすことが難しい状況が続くと思われる。
	印刷	総合印刷	業況は前年同月と比較して特に変化がなく、低迷している。
窯業・土石製品	陶磁器	春の大型イベントが終了し、落ち着きを取り戻しつつある。業界内の雰囲気は秋に開催する新たなイベントに向けて、少しずつ動き出そうとしている。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）	
製 造 業	鉄鋼・金属	鉄鋼	売上高は前年度と同程度であった。5月は大型連休があり、例年売上高が減少する月であるが、減少幅は前年同月と同程度であった。 前月同様電気代や燃料費が高値である。 金属材料は高値で推移しており、工業用薬品価格についても値上がりしている。
	一般機器	生産用機械	対象7組合員（製造会社）の売上状況は、前年同月比で3社増加、4社減少の全体増減率76%であった。 団地全体の売上高は、主要取引先からの受注が引き続き減少した事を主要因として、3ヶ月連続で減収となった。また、団地全体の従業員数は、正社員は増加しているが、派遣社員が減少しているため、前年同月比で減少となった。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	組合員間の売上高の格差が拡大している。
卸 売 業	卸売業	生鮮魚介	取扱高は前年同月比98.8% 連休前には多少荷動きはあったが、商品単価の上昇の影響で売上が伸び悩む状況が続いた。 インバウンド需要や外食産業等は伸びている中、家庭内消費については、伸び悩んでいるように思われる。 また、電気料金・物流コスト等全ての経費が上昇しているため、今後も収益が伸び悩む状況が予想される。
		米麦	米価上昇が続いているものの、集荷数量が少なかったため販売できる米がない状態が続いている。
	袋セメント	組合で扱うメーカー品袋セメント(ブランド品)の追加値上げ後、量販店の低価格袋セメント(ノンブランド品)との競合が更に激しくなっていることや、天候不順日が多かったこと等の要因により、袋セメントの5月出荷数量は、24千袋、前年同月比82.5%の実績となった。	
非 製 造 業	小 売 業	県北地区共同店舗	ゴールデンウィークは好調であったが後半失速し、売上高は前年同月比112.6%、客数は同122.7%、前年同月の売上高を確保できた店舗は41.6%であった。
		鹿行地区共同店舗	4月27日（土）に組合単独で新聞折込チラシ（売出し期間は4/27～5/31日の間で店舗ごとに設定）を出したが効果は低く、ゴールデンウィーク中の売上・集客状況は通常の土日とほぼ同等であった。 特に5/3～5/6はあまりお客様が入っていないように見えた。 折込チラシはコロナ禍前まで1月に組合・店舗の合同、1月に組合単独で年2回広告を出していたが、期間が近すぎるため、昨年度は6月に合同チラシ、1月に単独チラシに変更した。 今年度はゴールデンウィークに出したかった為、サイズを縮小し組合単独にした。 春季チラシに関しては、広告時期は何時がいいのか、どのような内容がいいのか等模索中である。
		家電	市況は4月以降、回復の兆しがみられる。家電はほとんどのカテゴリで前年を上回っている。特にエアコンは前年を大きく上回っており、節電・省エネ志向の高まりと気温上昇が要因と思われる。今後の夏商戦に向けて、国の電気代支援策終了による光熱費高騰によって省エネ家電への買い替えが増えるのではないかと期待している。
		燃料	国の燃料油価格激変緩和策により燃料油価格は抑えられているものの、レギュラーガソリンの平均価格は170円を超えており、前年同月に比べ約6円/ℓ高くなっている。 歴史的な円安と世界情勢の悪化により原油価格は下がる様子が無く、燃料油価格激変緩和策の継続が無くなった場合、レギュラーガソリンで200円/ℓを超え、消費者、小売事業者共に混乱を招く要因となることから、補助金延長を望んでいるが、何時まで続くかは不明であり、出口戦略を含め国の方針には注視して行く必要がある。 昨年度組合員数は8名減少した。SS数は低燃費車の増加や少子高齢化の影響で車に乗る世代の人口が少なくなっていることから経営は益々厳しくなっており、今後も減少することが予想されている。
		スポーツ用品	中学校の部活動の地域移行が進む中、部活加入者は減少すると思われたが、平日は厳しい練習を行わなくなり、活動日数も減少したことで、未経験の生徒が加入し、部活用品売上は増加した。よりハードな練習をやりたい生徒は、地域のクラブなどでスポーツをする傾向にあるため、地域総合型スポーツクラブとの取引を検討する必要がある。2027年より公益財団法人日本中学校体育連盟の全国大会がなくなる競技もでてくるので、動向を注視していきたい。
		中古自動車	販売価格は前年同月比104%と上昇したが、販売台数が同78.3%と2割強の減少となり、売上高は同81.5%と大きく減少した。 一部新車メーカーの減産や供給遅延で中古車の流通量が減少している影響で、流通相場が高騰しており、店頭価格が押し上げられている。また、小売市場は依然冷え込んでおり、販売台数が前年度割れとなっている販売店が多い。
野菜・果実	5月の野菜果物合計の取扱高は前年対比101.6%であった。 野菜に関しては3～4月の気温低下の影響により、キャベツ、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ等、多くの品目が単価高で推移した。		

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
商店街	ひたちなか	商店街の店舗は昭和50年頃に建築された建物が多く、雨漏り等の問題をかかえている店が多い。店主が高齢となり、商売を辞めた後、店舗スペースを貸し出したいが、雨漏り等が障害となって貸し出せずにいる。	
	水戸	人手不足が続いており、原材料費の高騰などの影響から業況は悪化している。	
	筑西	仕入れ商品の値上げが加速している。今まで値上げがなかった米の高騰が著しい。	
非製造業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車(101.6%)・軽自動車(102.5%)ともに微増となった。車検台数は、共に対前年度比としては若干増加しているが、コロナ禍における落ち込みは、解消されていない。整備に必要な油脂類並びに機器の高騰により、収益面での悪化が懸念される。	
	旅館、ホテル	ゴールデンウィーク期間中において、前年より客入りが好調の様子を見せた。その要因の1つとしてイベント(常陸国YOSAKOI祭り、奥久慈トレイル等)やスポーツ大会(中学野球、体操クラブ)等への団体客の入りと思われる。また、ゴールデンウィーク期間中の旅館、ホテル内での個人消費額も増えていた。なお、集客地域については県内及び関東の地域が多くを占め、台湾等の東南アジアからのインバウンドが堅調であった。一方、ゴールデンウィーク期間中及び週末でも客足が低調な地域があり、諸物価及び人件費の高騰など固定費が高み、収益が好転しない状況にある。	
	建設業	鹿行地区建設	県、市等の予算減少により、公共工事発注数も減少し組合員の請負本数も年々少なくなっている。業況は良くなく、改善する様子は現状では見られない。発注本数の減少による競争激化や資材と賃金の上昇により経営が悪化している。
		県北地区管工事	7月から一部の材料が値上げすることを組合員へ通知した。
運輸業	軽貨物自動車	令和6年5月度の組合員数は98名。車輛台数は127台で前月と比較して組合員が2名減少、車輛は2台減少である。また、運送売上高については前年同月比89.7%であった。	
	一般貨物自動車	主要顧客の発送物量は、引き続き低調で車両の稼働が低下しているが、輸送運賃が値上げされた。一方、燃料価格は高値安定しており、収益は厳しい状況が続いている。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食の回数増
小売業	燃料	揮発油に課税している二重課税の廃止 燃料油価格激変緩和策の継続と出口戦略の明確化 物価上昇、円高への対策
建設業	鹿行地区建設	公共工事の発注本数の増加

月次景況調査 5月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比
景 況	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 4.0	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
売 上 高	0.0	2.0	▲ 2.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 4.0	20.0	20.0	0.0
収 益 状 況	▲ 22.0	▲ 22.0	0.0	▲ 24.0	▲ 28.0	4.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 4.0
販 売 価 格	40.0	40.0	0.0	16.0	16.0	0.0	64.0	64.0	0.0
取 引 条 件	▲ 18.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 4.0

中小企業月次景況調査(令和6年5月)DI値(前年同月比)

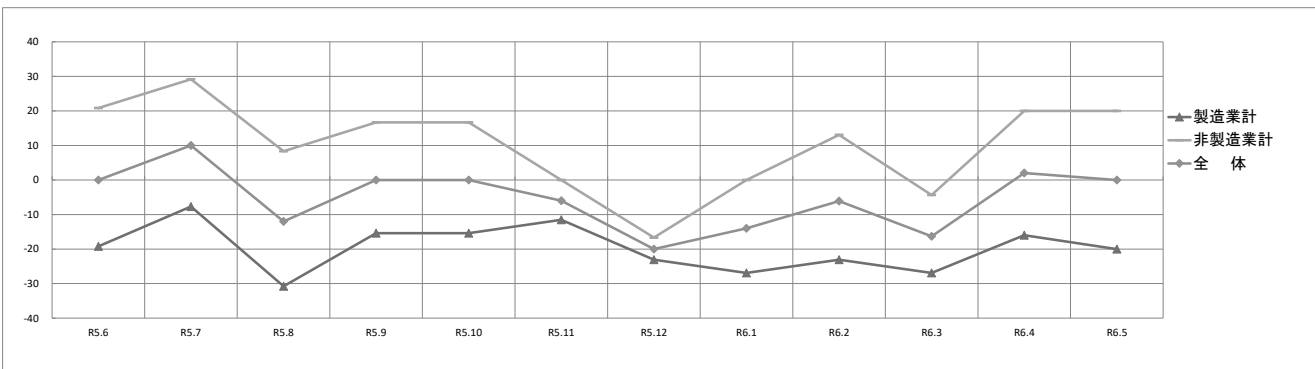
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)																
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	△ 14.3	1	4	2	7	14.3	1	6	0	7	57.1	4	3	0	7	△ 28.6	0	5	2	7	△ 28.6	0	5	2	7	△ 42.9	0	4	3	7	△ 14.3	1	4	2	7	△ 14.3	0	6	1	7	△ 28.6	0	5	2	7
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	木材・木製品	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	1	3	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	1	3	1	5
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	電気機器	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	輸送機器	0.0	1	1	1	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	1	1	1	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
製造業計	△ 20.0	2	16	7	25	△ 8.0	2	19	4	25	16.0	6	17	2	25	△ 20.0	0	20	5	25	△ 24.0	1	17	7	25	△ 20.0	0	20	5	25	△ 16.0	2	17	6	25	△ 16.0	1	19	5	25	△ 28.0	1	16	8	25	
非製造業	卸売業	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3		0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3				
	小売業 (商店街含む)	46.2	7	5	1	13	△ 15.4	1	9	3	13	69.2	9	4	0	13	△ 23.1	0	10	3	13	△ 15.4	1	9	3	13	△ 7.7	1	10	2	13		△ 7.7	1	10	2	13	△ 23.1	0	10	3	13				
	サービス業	0.0	1	0	1	2					50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2		0.0	1	0	1	2	50.0	1	1	0	2					
	建設業	0.0	2	1	2	5					60.0	3	2	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5		0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5					
	運輸業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2		△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2					
	非製造業計	20.0	10	10	5	25	△ 18.8	1	11	4	16	64.0	16	9	0	25	△ 16.0	0	21	4	25	△ 20.0	1	18	6	25	△ 8.0	1	21	3	25		△ 8.0	2	19	4	25	△ 20.0	1	18	6	25				
全体	0.0	12	26	12	50	△ 12.2	3	30	8	41	40.0	22	26	2	50	△ 18.0	0	41	9	50	△ 22.0	2	35	13	50	△ 14.0	1	41	8	50	△ 16.0	2	17	6	25	△ 12.0	3	38	9	50	△ 24.0	2	34	14	50	

D I 値推移表 (R5. 6月 ~ R6. 5月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	33.3	16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	16.7	▲ 42.9	▲ 14.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 30.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 5.6	▲ 22.2
製造業計	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 16.0	▲ 20.0
卸売業	66.7	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	▲ 66.7	33.3	100.0	66.7	100.0	0.0
小売業(商店街含む)	8.3	16.7	16.7	33.3	0.0	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	15.4	46.2
サービス業	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	0.0
建設業	40.0	20.0	▲ 40.0	40.0	40.0	▲ 20.0	0.0	40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	20.0	0.0
運輸業	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	100.0	0.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	20.8	29.2	8.3	16.7	16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	13.0	▲ 4.3	20.0	20.0
全体	0.0	10.0	▲ 12.0	0.0	0.0	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 14.0	▲ 6.1	▲ 16.3	2.0	0.0

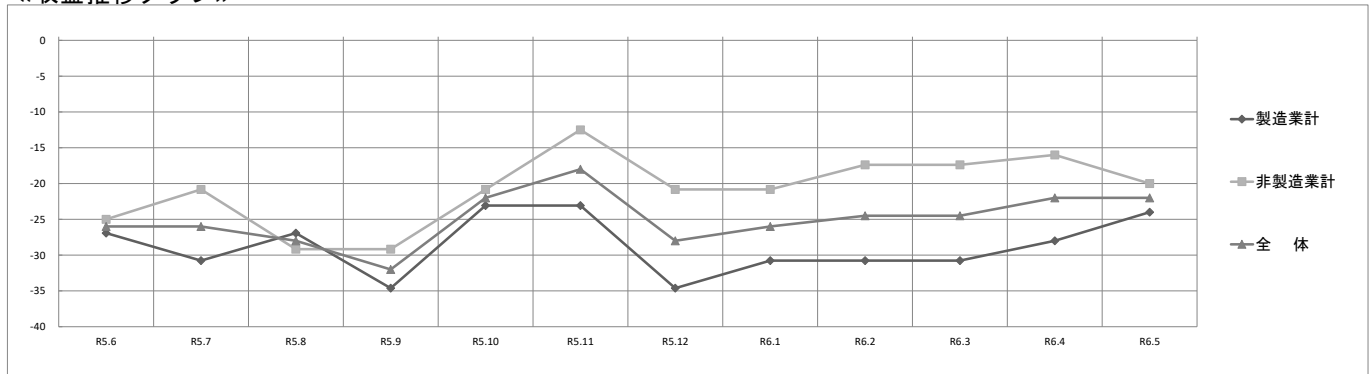
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	▲ 28.6	▲ 28.6
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 45.0	▲ 27.8	▲ 22.2
製造業計	▲ 26.9	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 28.0	▲ 24.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 15.4
サービス業	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 16.0	▲ 20.0
全体	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 28.0	▲ 32.0	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 26.0	▲ 24.5	▲ 24.5	▲ 22.0	▲ 22.0

《収益推移グラフ》

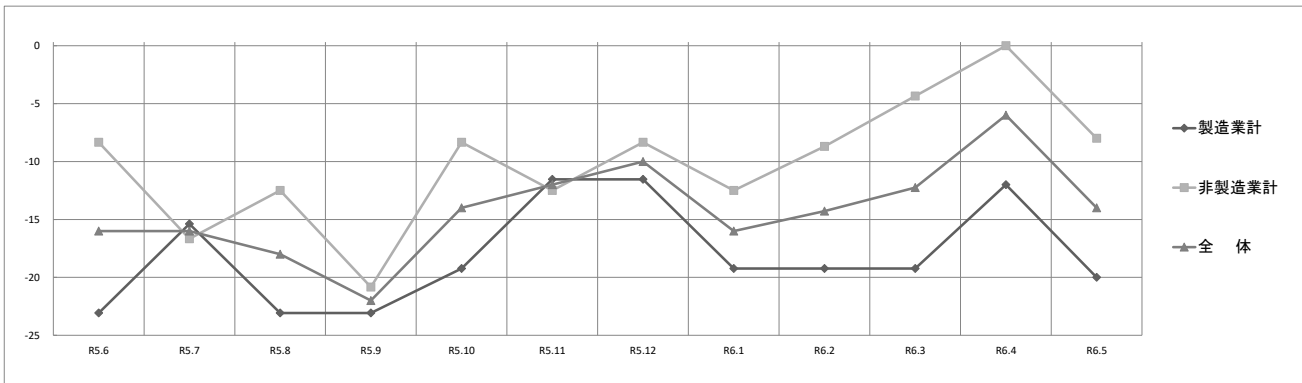


D I 値推移表 (R5. 6月 ~ R6. 5月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 5.6	▲ 11.1
製造業計	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 12.0	▲ 20.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 15.4	▲ 7.7
サービス業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 4.3	0.0	▲ 8.0
全体	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 22.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 12.2	▲ 6.0	▲ 14.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 66.7	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 22.2	▲ 27.8
製造業計	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 20.0	▲ 28.0
卸売業	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 66.7	0.0	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 25.0	8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 30.8	▲ 23.1
サービス業	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	50.0
建設業	0.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 12.5	4.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 21.7	▲ 34.8	▲ 20.0	▲ 20.0
全体	▲ 24.0	▲ 18.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 26.5	▲ 32.7	▲ 20.0	▲ 24.0

《景況推移グラフ》

